

事業完了報告書（実行団体）

Version 3.2

事業名:	フードバンクのハード整備と食品提供の継続
資金分配団体名:	特定非営利活動法人ひろしまNPOセンター
実行団体名:	社会福祉法人正仁会
実施時期:	2021年7月～2021年12月
事業対象地域:	広島県
事業対象者:	各種団体や個人等の食料支援依頼者、及び企業、農家、個人等の食料提供者

日付: 2021年12月27日

I. 事業概要

事業実施概要	<p>ハード整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大型倉庫の新設、現行倉庫の改修、大型冷蔵庫・冷凍庫の購入、1.5トントラックの購入による取り扱い物資拡大 <p>ネットワーク整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内フードバンク活動主体連携促進およびオンライン学習会を通じたフードバンク共感者の拡大
--------	---

II. 課題・事業設計の振り返り

課題設定、事業設計に関する振り返り	<p>新型コロナの影響により、行き場を失った未利用食品が急増、収入が減ったことによる生活困難者が増加した。これら両者を繋ぐ当法人に対する社会の期待は高く、更なる活動の拡大と強化を図るために課題として脆弱であったハード面と県内フードバンクネットワーク構築・フードバンク活動拡大のための学習会を設定し、事業設計を行った。ハード面に関しては、事業遂行はスムーズに行われ計画通りでありハードが整備された。県内フードバンクネットワーク構築に関してはオンラインミーティングを3回行い、活動主体者の全員の参加があり、活発な意見交換が行われ、ネットワークが成立し、今後、活動をスタートさせることになった。オンライン学習会に関しては、3回行い、全国からフードバンク関係者や学生、企業、行政などの参加者があり、大いに盛り上がった。故にフードバンクに対する関心の高さを認識した。ただ、フードバンク活動は、社会の様々な課題に向き合っており、今後の更なるフードバンク活動の発展には、様々な分野のアクターの参加が不可欠であると考えられる。</p>
-------------------	---

III. 今回の事業実施で達成される状態（アウトプット）※複数設定の場合はコピーし複数記載ください。

①受益者	②課題	③今回の事業実施で達成される状態（アウトプット）	④指標	⑤目標値・目標状態	⑥結果	⑦考察
その他	その他	<ul style="list-style-type: none"> ●ハード面 <ul style="list-style-type: none"> ・倉庫設備の整備 ・トラックの購入 ●ネットワーク整備 <ul style="list-style-type: none"> ・オンラインミーティングに県内のフードバンク活動主体者が参加している。 ・学習会にフードバンク関係者、関心のあがる人が参加している。 	<ul style="list-style-type: none"> ●ハード面 <ul style="list-style-type: none"> ・新設・改修された倉庫の有無 ・購入した冷凍冷蔵庫の有無 ・購入したトラックの有無 ●ネットワーク整備 <ul style="list-style-type: none"> ・オンラインミーティングに参加した団体数 ・オンライン学習会の参加人数 ・オンライン学習会での学びの理解度 	<ul style="list-style-type: none"> ●ハード面 <ul style="list-style-type: none"> ・倉庫の完成・冷凍冷蔵庫の納品 ・トラックの納品 ●ネットワーク整備 <ul style="list-style-type: none"> ・オンラインミーティング参加団体7団体 ・オンライン学習会参加者延べ30人 ・理解度が向上した参加者の割合60% 	<ul style="list-style-type: none"> ●ハード面 <ul style="list-style-type: none"> ・10月末に旧倉庫の修理完了 ・11月末に倉庫完成 ・8月上旬に冷凍冷蔵庫の設置完了 ・11月末にトラック納品完了 ●ネットワーク面 <ul style="list-style-type: none"> ・オンラインミーティングは3回行い、県内7団体すべて参加した ・オンライン学習会参加者は延べ167名 ・よく理解できたとアンケートに回答した参加者は91%であり、目標値を大きく上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●ハード面 <ul style="list-style-type: none"> ・充実され、今まで以上の食品の取り扱いが可能となった。食品の保管は効率よくなり、スタッフやボランティアの負担が軽減された。 ●ネットワーク整備 <ul style="list-style-type: none"> ・県内オンラインネットワーク構築は、活動の情報や課題を共有することが可能となり、今後、より一層、県内の社会的課題解決に向けて邁進することが可能になると考える。 ・オンライン学習会は、フードバンク活動に対する期待や関心の高さを認識することができ、新たなフードバンク活動主体者の誕生が期待できる。

IV. アウトカム（事業実施以降に目標とする状況）*

事業実施以降に目標とする状況	<p>ハード面</p> <p>受け入れ支援食料の量：2020年度実績35トンハード整備後は50トンを目指す。支援対象者に届けた支援食料の量：2020年度の実績35トンハード整備後は50トンを目指す。ボランティア数：2020年度実績16名ハード整備後18名を目指す。</p> <p>ネットワーク整備</p> <p>コロナの影響により、フードバンク活動が注目されているが、フードバンク活動主体者が抱える課題も増えている。県内のネットワーク構築により、課題解決に向けて互いに協力ができ、活動に自信が持てるようになる。オンライン学習会により、多くの方々にフードバンクに関する理解が深まった。</p>
考察等	<p>新型コロナによる影響はまだまだ続きそうな気配であり、さらに行き場のない食料の増加や生活困窮者の増加が予想される。そのような中、フードバンクに対して期待は、ますます高まるだろう。フードバンク活動主体者は、期待に答えるべく精一杯活動を行っているが、ハード面が整備されていない、フードバンクの認知度がまだまだ低いなどの理由で、思うよう活動ができていない主体も多々ある。当法人は、活動歴が長く、他のフードバンクの起ち上げの手伝いをしてきた経緯もあり、自らのミッションを遂行しつつ他のフードバンクの手助けとなるよう、この度の助成の成果をステップアップとしてとらえている。</p>

V. 活動

活動	進捗	概要
冷凍冷蔵庫の購入	計画通り	予定通り実施
旧倉庫の修理	計画通り	予定通り実施
大型倉庫の設置	計画通り	予定通り実施
トラックの購入	ほぼ計画通り	予定通り実施
県内フードバンクオンラインミーティング	計画通り	予定通り実施。毎回19時～20時30分、3回実施した。
フードバンク学習会開催	計画通り	予定通り実施。毎回19時～20時30分 その後30分の放課後時間を設定した。3回実施した。

VI. 想定外のアウトカム、活動、波及効果など

想定外のアウトカム、活動、波及効果など	オンライン学習会では、地域では北は新潟から南は鹿児島、世代では中学生から大学生までの若い世代の参加もあり、大いに盛り上がり今後の継続を希望する声があった。
---------------------	---

VII. 事業終了時の課題を取り巻く環境や対象者の変化と次の活動

課題を取り巻く変化	コロナの長期化により、さらに状況が悪くなったと認識している。行き場を失った食料の問題は、サービス業だけでなく生産者にも打撃を与えている。コロナ以前より生活が厳しくなった人々が増加しているとの報告もある。生活困窮者が増え続けている中、県内のフードバンクは、広島市のなどの都市に集中しており、県内広く生活困窮者の支援に及ばないのが現状である。ネットワークを通じて、今後、フードバンクを増やしていく必要がある。
-----------	--

VIII. 他団体との連携

連携先	実施内容・結果
全国食品ロス削減研究会	研究会の協力を得て、第二回フードバンク学習会の講師を依頼した。

IX. インプット ※事業完了月の月次収支管理簿の金額を入力ください。(精算金額と一致させる必要はありません)

事業費	計画額		実績額		執行率	
	直接事業費	管理的経費				
	10,080,000	0	10,080,000	0	100.0%	#DIV/0!
合計	10,080,000		10,080,000		100.0%	

補足説明	ホシザキ中国：1,457,500円、業務用冷蔵庫・冷凍庫の購入・入替、玄米保冷庫の購入 オレンジ：4,900,000円、トラックおよび幌等の購入 沖野建築：583,000円、建築監理 竹野下組：3,139,500円、既存倉庫エアコン設置・既存倉庫の改修・新設倉庫設置
------	---

X. 広報実績

広報内容	内容
1.メディア掲載 (TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB等)	2021年9月9日RCCラジオ「おひる～な」でコロナ禍のフードバンク活動に関して話をした。その時、オンライン学習会の案内を行った。あいあいねっとfacebookでオンライン学習会のお知らせを行った。広島市環境局のサイトで、オンライン学習会の紹介を掲載。
2.広報制作物等 当該事業費を使って制作したもの	
3.広報制作物、購入物等でシンボルマークの活用方法 (事例)	
4.報告書等	

XI. ガバナンス・コンプライアンス実績

①規程類※の整備実績 ※規程類：定款・規程及び準ずる文書類(指針・ガイドライン等を含む)	状況	内容
1.事業期間に整備が求められている規程類の整備は完了しましたか。	完了	
2.上記設問1で「整備中」の場合は、事業開始時と比較して、整備状況がどのように改善されたかを記載してください。		
3.整備が完了した規程類を自団体のwebサイト上で広く一般公開していますか。	一部未公開	「規程類確認書」、及び「規程類に含める必須項目の確認書(実行団体)」で示している規程は多くあり、主だったもの(定款、定款細則、倫理規程、経理規程、役員報酬規程等)は公開しているものの、その他の全てをweb上で公開しているわけではない。
4.変更があった規程類に関して資金分配団体に報告しましたか。	変更があり報告済	
②ガバナンス・コンプライアンス体制	状況	内容
1.社員総会、評議員会、理事会は、規程類の定める通りに開催されていますか。	はい	
2.利益相反防止のための自己申告を定期的に行っていますか。	はい	
3.関連する規程類や資金提供契約の定めどおり情報公開を行っていますか。	はい	
4.コンプライアンス委員会またはコンプライアンス責任者を設置しましたか。	はい	

5.ガバナンス・コンプライアンスの整備や強化施策を検討・実施しましたか。	はい	
6.報告年度の会計監査はどのように実施しましたか。 (実施予定の場合含む) (複数選択可)	<input checked="" type="checkbox"/> 外部監査	監事による内部監査、及び外部の委託事業者(税理士)による支援業務を実施予定。
	<input checked="" type="checkbox"/> 内部監査	
	<input type="checkbox"/> 実施予定はない	
7.本事業に対して、国や地方公共団体からの補助金・助成金等を申請、または受領していますか。	いいえ	
8.内部通報制度は整備されていますか。	はい	法令遵守体制整備規則において規定している。

XII. その他

自由記述